



□やなせななさんコンサート

▼三月二十五日午後一時半より本堂で開催。二百名超の方が聞きに来てくれました。やなせさんは奈良県のお寺(浄土宗本願寺派)の住職、そして「歌う。尼さん」として人々にいのちの歌を聞かせてくれています。奈良弁でのお話は自分の生い立ちから始まり、子宮体ガンの手術、震災、自らの体験を歌い、語ってくれました。客席は涙ぐむ人の姿も見られました。『ほとけさまからいただいた、かけがえのないご縁。二度とめぐりくることのない「今」を大切に、いのちある限り、これからも「歌う尼さん」でありたい。』と語ってくれました。

□役員退任 表町 五十嵐タミノ氏

□役員就任 表町 兼田 孝夫氏

退任と就任のお知らせです。退任の五十嵐様のご慰労を申し上げ、新任の兼田様には今後よろしくお願ひ致します。

□瑞應寺だより (恭真)

▼愛媛県新居浜の瑞應寺に修行中の三男恭真。

三年目の春を迎えています。昨年冬に首座(しゅそ・修行の先頭に立つ)を務め、その後方行(ほうあん・方丈の世話係)、そして春からは書記(しよき・首座を補佐する)として三ヶ月の修行に入りました。去る五月十五日〜十七日まで五泉市の英林寺様の弁道会に堂長・檜崎通元老師に付いて出かけていました。遠い四国の地でもう少し修行に励むこととなります。

□迦葉山だより (秀孝)

▼群馬県沼田の天狗のお寺、迦葉山龍華院で勉強中の二男秀孝。

五月十一日約一年のお手伝いを終え戻ってきました。この後は村上市平林の千眼寺様の後継者として準備を進めることとなります。広厳寺とは法類(親戚寺)付き合いの関係ですので、これからは事あるごとに寺として行き来することになります。本当に秀孝にとっては又とない良いご縁をいただいたと思っています。

□梅花だより

梅花流創立六十周年記念奉詠大会

期日 五月二十九日・三十日

会場 千葉県 幕張メッセ

『幕張イベントホール』

新潟県第四宗務所梅花講は、三日登壇奉詠、奉詠曲は「達磨大師御和讃一・四番、達磨大師御詠歌(廓然)」参加者は二百五十名。新曲「道利行御和讃」が六十周年を記念して発表されました。

第二十回第四宗務所奉詠大会

期日 十月四日

会場 聖籠町文化会館

定員 七百名

アトラクション

歌う。尼さん

やなせななさん



やなせさんには広厳寺主催コンサートにもお出でいただきました。また素晴らしい歌声が聞けます。とても楽しみです。

仏事の知識 「先祖さま

仏教信仰する者であれば必ずお仏壇に朝のご挨拶をいたします。まずは朝食を頂く前に、お仏飯を供え、お水を上げ、お口ソクを灯し、お線香を立て、お鈴を鳴らして静かに手を合わす。いただきものがあつたらまずお仏壇にお供えして後、ご先祖さまからそれを分けていただきます。毎日の生活の始まりは朝のお参りからです。

ご先祖さまは何人?、誰にでも両親がいて、それぞれに両親がいる。そしてその二人にも同じように二人づつの親がいて、と数えてゆくと...私の両親二人、その両親にも二人ずつ計四人、三代遡ると八人、十代では千二十四人、二十代は百四万八千五百七十六人、ものすごい数のご先祖になります。その一人でも欠けていたら今の自分はありません。その命のつながりに感謝することがお仏壇に手を合わすことです。「ご先祖さま」を大事にいたしましょう。